事業者向け　放課後等デイサービス自己評価表

評価日：平成31年3月8日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			適切なスペースが確保されている。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			適切に配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			玄関の段差を無くし、トイレの手すりの設置を行う等配慮を行っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			業務の改善を毎朝のミーティングや職員会議等で広く職員の意思を反映させられる様な環境を作っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者等に向けて自己評価に係るアンケート調査を実施している。今後業務内容に反映させていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ上にて公開を行っている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価は行っていないが、業務改善の為今後実施していきたい。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			職員には積極的に外部研修を受講する機会を作っている。また、職員会議内においても研修の機会を設けている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントに基づいた計画作成を行っている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			研修等で学んだアセスメントツールを活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			起案に際しては複数の職員で検討している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			プログラムの評価を行い改善している。積極的に新しいプログラムも取り入れている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			学校の休日や長期休暇には昼食の調理レクの他、平日には出来ない場所への外出を取り入れている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			子どもの課題に合わせて個別・集団活動を組み合わせた計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝ミーティングを行い、一日の流れや注意事項について確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		利用後の送迎がある為、支援サービス提供時間後の振り返りは困難な為、月に1、2度スタッフ会議を行い支援の振り返り、改善に繋げている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録は一人だけで無く、関わった職員が気付いた事等を記入する様心がけている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的に現場職員の意見を聞き評価を行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			ガイドラインに沿って支援を行っている。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児発管だけでなく、必要であればその児童の状況に詳しいものが参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			送迎時に学校の先生と情報を共有している他、必要に応じて直接または電話等で学校との連絡を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		医療的ケアが必要な児童はいないが、アレルギーやてんかんのある児童がいる為、病院や主治医を確認している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		対象となる児童がいないが必要であれば情報を共有していきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		これまでそういったケースは無かったが、対象児童がいれば円滑な移行の為に情報提供を行う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童発達支援センター開催の研修を受講し、職員のスキルアップを図っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			障がいの無い児童がボランティアとして訪問し、交流を行っている。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			積極的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時の他、定期的に面談を実施し、情報の共有、課題の共通理解をもつ機会を作っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○		ペアレント・トレーニングという形態はとっていないものの、まごころで実践して効果のあったもので家庭でも取り組める事は保護者へも周知している。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に不明なところが無い様に丁寧に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時だけで無く、必要に応じて時間を設けて相談を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		前年度に保護者参加の親睦会を実施している。今年度は行えていないが、次年度からの開催を予定している。
非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情対応体制を整備し、保護者へ周知している。保護者からの苦情に対しては速やかな状況説明と改善方法を伝えるよう心掛けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、事業所での活動や連絡事項を掲載したお便りを発行し、保護者等に配布している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			取り扱いは保護者同意の元、事業所または必要に応じて関係機関のみでの利用としている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			送迎時の他、連絡ノートを用意し情報伝達の方法の一つとしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		地域住民への交流はあまり無く、今後の課題である。行事には近隣の商店等に協力を頂いている。
	38	緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			策定し職員への周知している他、緊急対応マニュアルは玄関に掲示し、外部の者も自由に閲覧出来る様にしている。保護者に対しては周知が不十分であった為、今後機会を作っていく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			消防法に則り、年に2回の防災訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職員に対しては日々のミーティングの中で虐待の防止への意識付けを行っている。次年度実施される虐待に関する研修の参加を予定している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			現在まで身体拘束を行った事は無いが、やむを得ず行う場合は適正な手続きを踏み進めていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		利用開始時に保護者からの聞き取りを元に対応している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット報告は回覧し、必要に応じて職員会議内で改善に向けた話合いを行っている。